

「はじむっと! ECO通勤」 「つつくっと! ECO通勤」



まずは毎週水曜日を「ノーマイカーデー」に



～鹿児島都市圏における「エコ通勤」の取組みについて～



鹿児島県企画部交通政策課

課長 内海 雄介

1 鹿児島市の現状(エコ通勤の背景)

- 鹿児島市への人口集中
→県全体の3割、約60万人が居住
- シラス台地上に建設された住宅団地
→郊外部の主要団地は約50,000世帯
- 自動車保有台数の増加
→平成17年の乗用車台数は昭和50年の4倍に増加

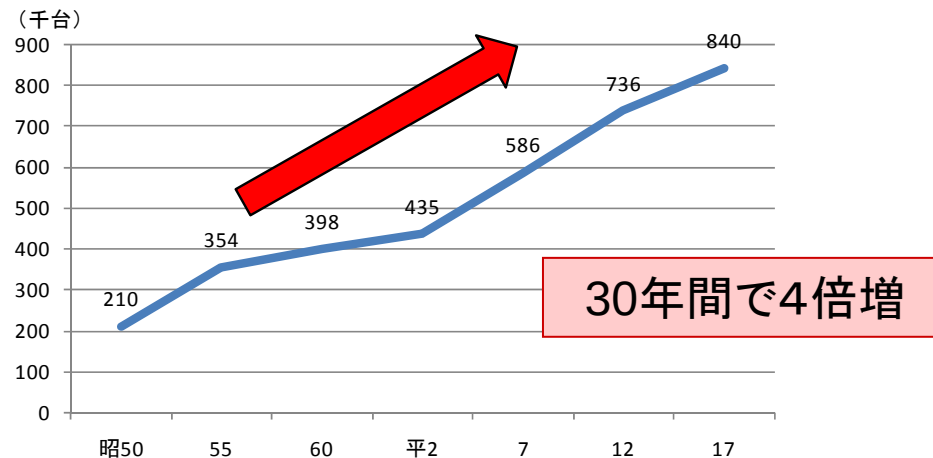


図 乗用車台数の推移(鹿児島県)

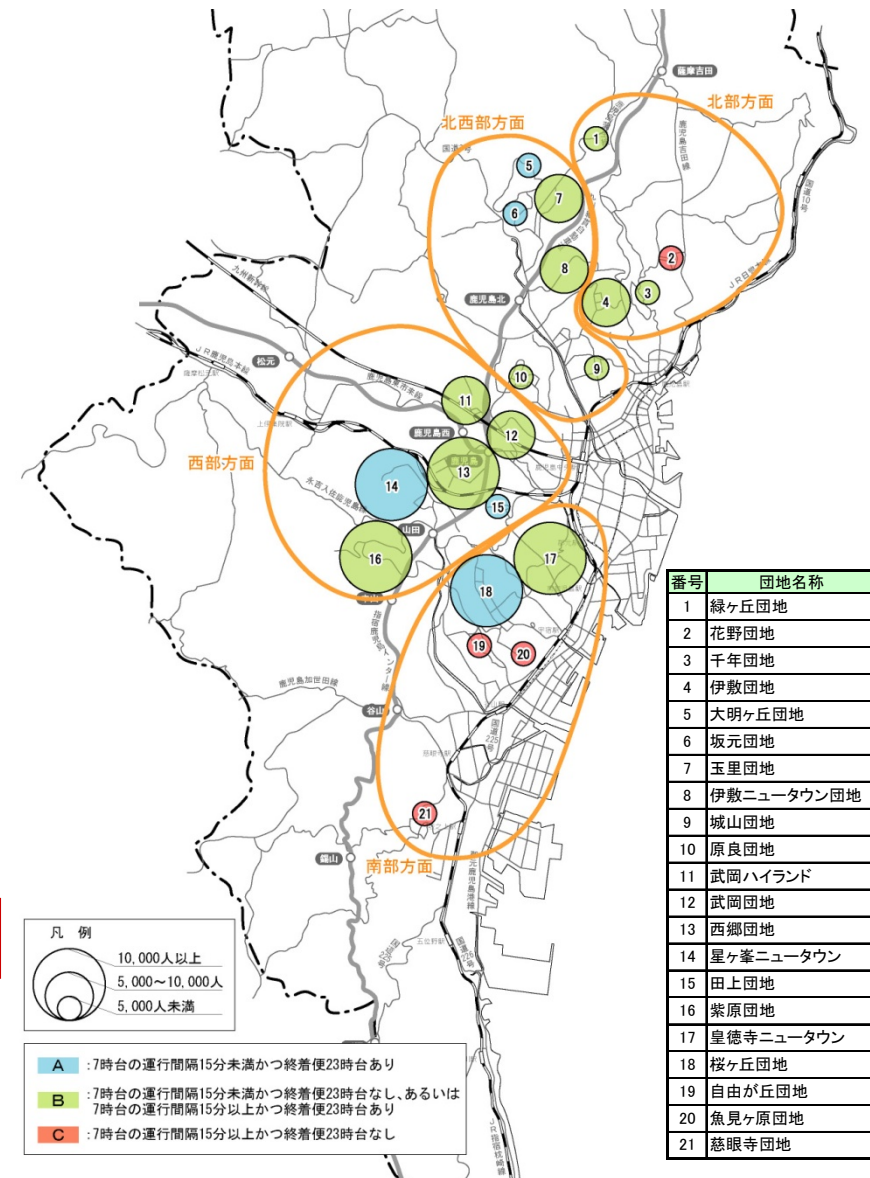
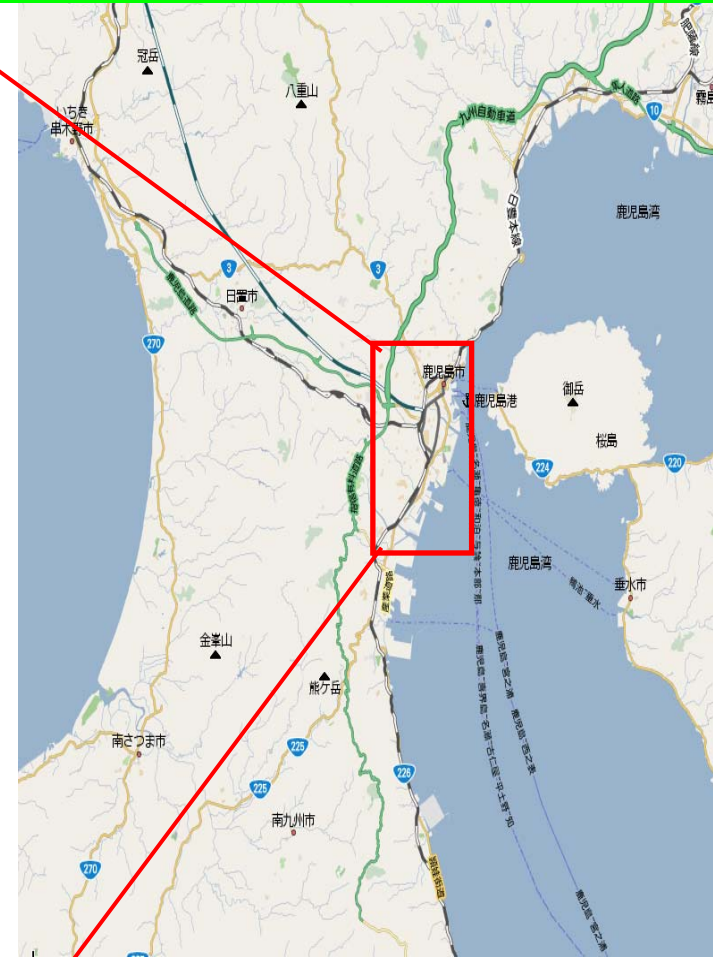
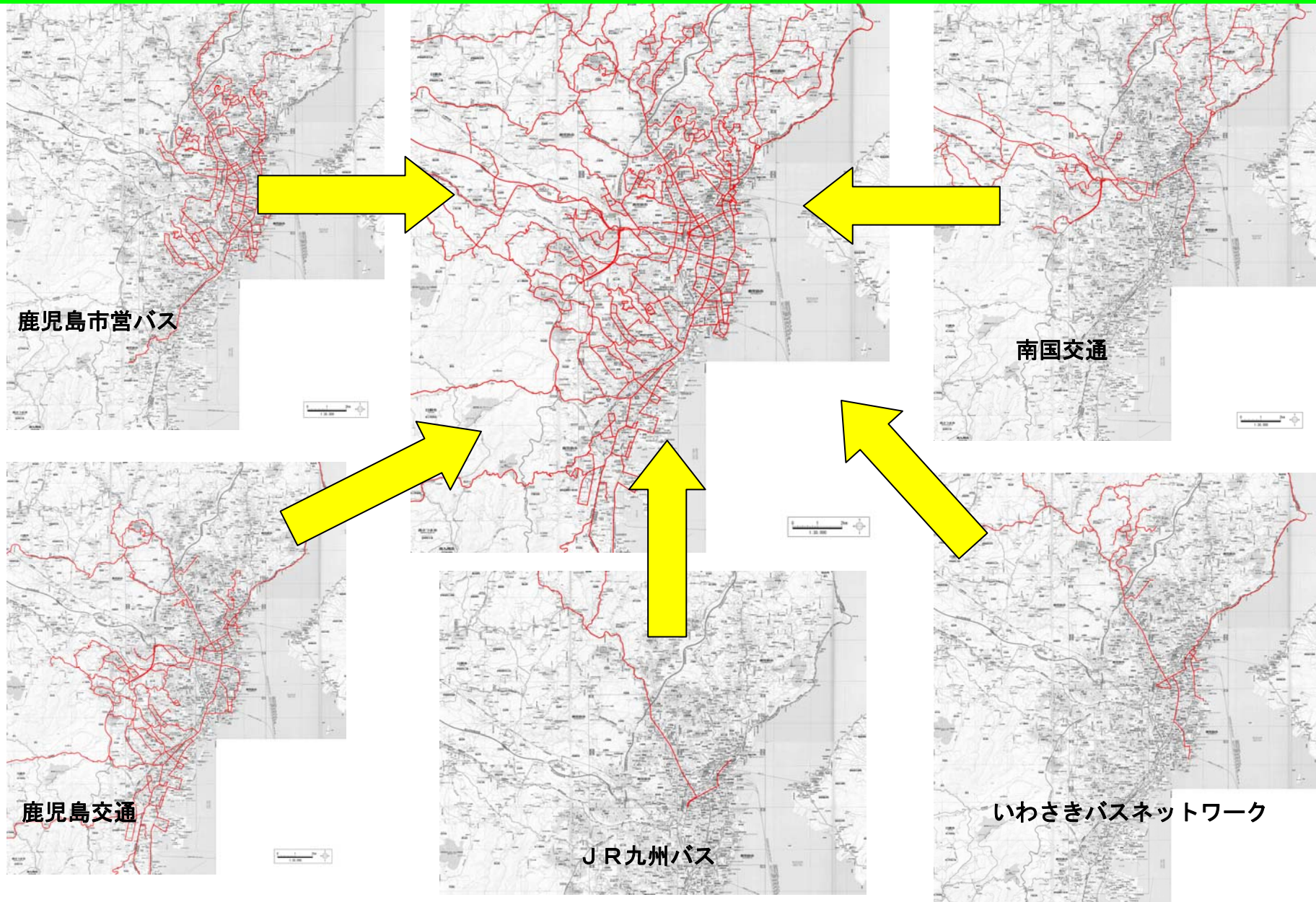


図 鹿児島市郊外に存在する団地

1 鹿児島市の現状(鉄道網)



1 鹿児島市の現状(バス路線)



1 鹿児島市の現状(エコ通勤の背景)

- 脆弱な公共交通ネットワーク
→限られた鉄道網、
5社が競合するバスは利用者減少
- シラス台地の間を通る少ない幹線道路
→主要な幹線道路7路線に、交通が集中
(朝ラッシュ時に1万台が流入)

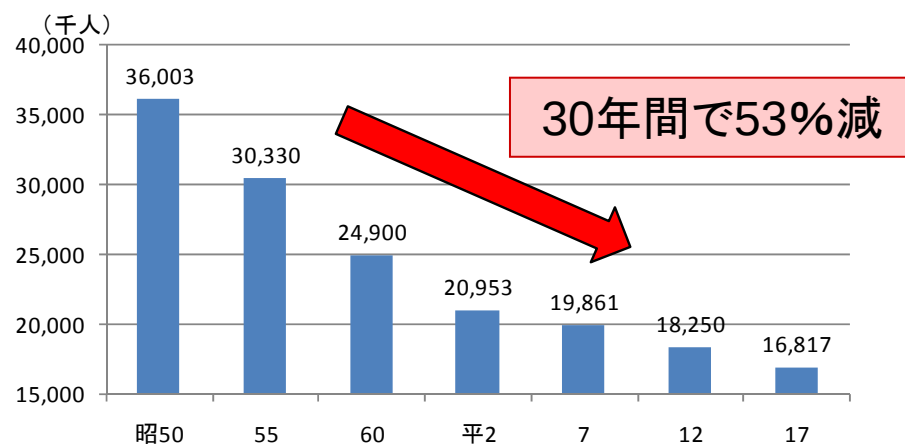


図 乗合バス輸送人員の推移(鹿児島市交通局)

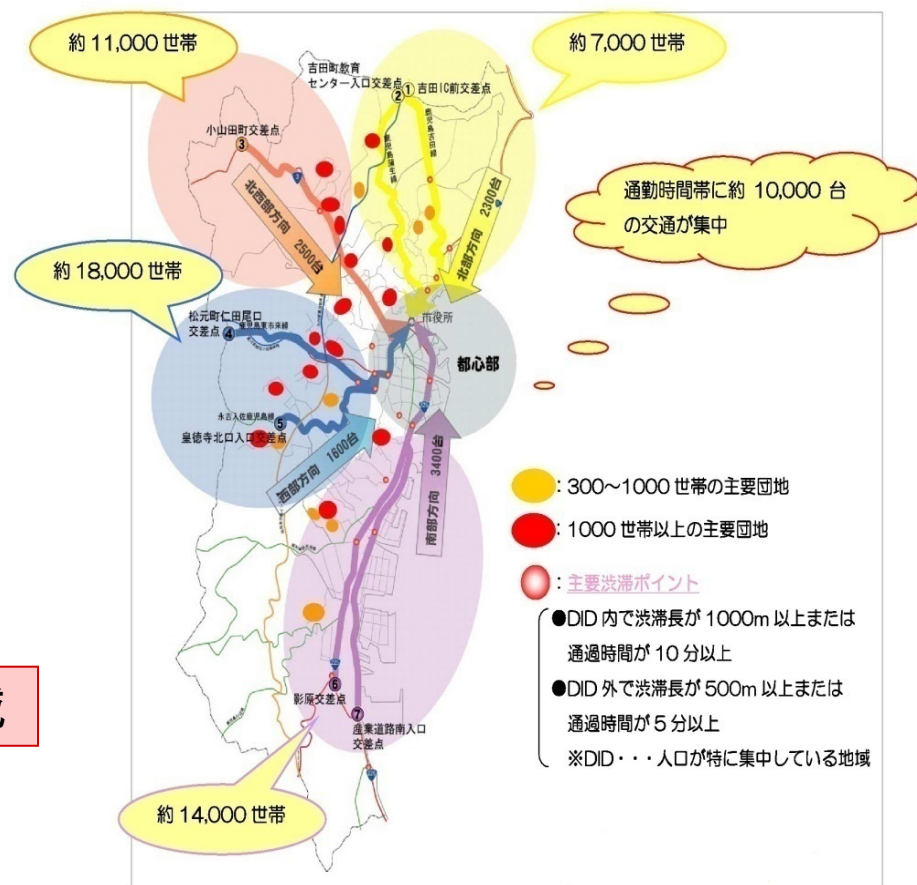
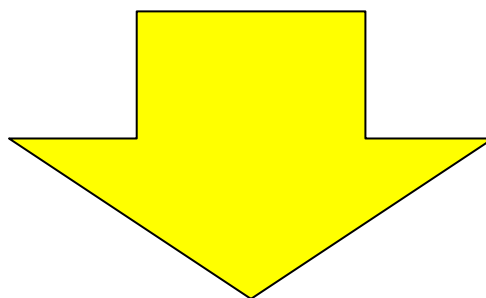
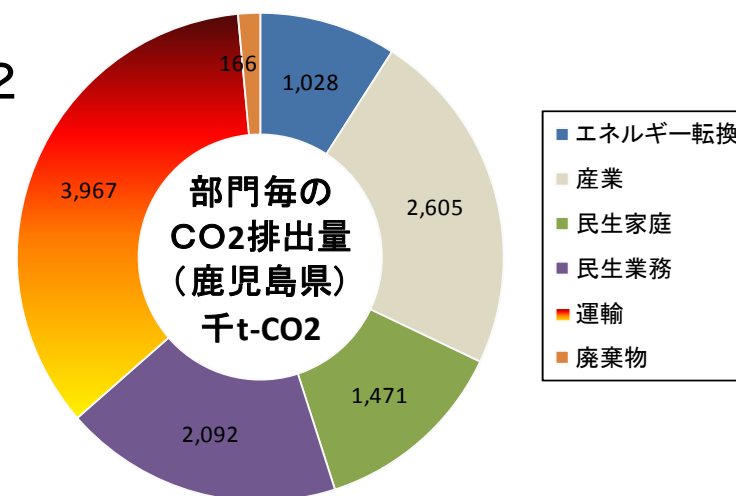


図 郊外の団地から集中する交通

1 鹿児島市の現状(エコ通勤の背景)

- 交通渋滞によるインパクト
 - 朝ラッシュ(7時~9時)に1万台が流入
 - 経済損失は約461億円に上る
 - CO2排出量は、運輸部門で3,967千t-CO2
(鹿児島県全体の約1/3が運輸部門)
- 対策が急務
 - ハード対策の限界
 - ソフト的対策の活用



「エコ通勤」によるソフト対策の実施

2 エコ通勤の取組み

1年目：社会実験（19年度）

2年目：1年目の社会実験を元に，内容を充実させて本格的な取組（20年度）

3年目：他都市での応用も可能な地域計画
「エコ通勤を推進する鹿児島における低炭素地域計画」の策定

（21年度）

2 エコ通勤の取組み

公共交通機関への転換促進
→エコ通勤の推進

バスマップの作成

鴨池周辺版バスマップ・時刻表作成

バスへの系統番号付与

主要団地向けポケット時刻表作成

各企業への戸別訪問による参加要請

エコ通勤参加者のWeb登録など、ホームページの充実

各種広報による普及啓発（メディア等の活用）

知事マニフェスト：『通勤手段のマイカーから公共交通機関等への転換を促す「エコ通勤」・「ノーマイカーデー」を県民運動として展開』

2 エコ通勤の取組み

バスの日合同イベント



2 エコ通勤の取組み

バスの日合同イベント



2 エコ通勤の取組み

PR街頭キャンペーン



2 エコ通勤の取組み

伊藤知事自転車通勤



など

2 エコ通勤の取組み

系統番号の付与



バスマップ

[illegible]

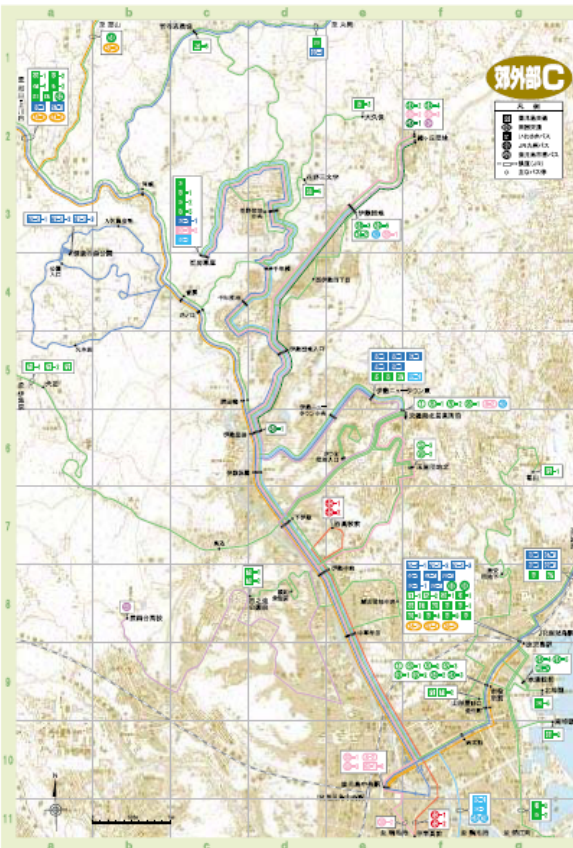
- この図は、各方面の郊外部のバスマップ、エリア内バス系統情報、バスの乗り方などを記載しています。
- 裏面は、中心部のバスマップ(市中心部で完結するバス路線を中心に記載)、全バス系統情報、天文館地区・高尾島中央駅の乗り場案内などを記載しています。

郊外部のバスマップ	
●特急を見やるとすると、1/2は都区内から都心の駅まで徒歩圏内に乗りこえます。つまり、特急は、下の表の通りです。	
線	中心部への駅、乗換所
ピンク	池袋・西武池袋線、池袋有楽町線
赤	有楽町線・池袋駅、池袋駅西口線、池袋駅東口線
水色	池袋有楽町線・池袋駅西口線、池袋駅東口線
青	池袋有楽町線・池袋駅西口線、池袋駅東口線、池袋駅西口線、池袋駅東口線
線	中心部への駅、乗換所
桃	池袋有楽町線、池袋駅西口線、池袋駅東口線
緑	池袋有楽町線、池袋駅西口線、池袋駅東口線
黄	池袋有楽町線、池袋駅西口線、池袋駅東口線
深緑	池袋有楽町線、池袋駅西口線、池袋駅東口線

[illegible]

●南見高中央駅バスターミナル発、天文館バス停発の運行時刻については、エゴ通販専用ホームページをご利用下さい。

●また、各バス会社等のホームページからも運行時刻の検索ができます。



(株)アリマコーポレーション、(医)猪苗会舎パールランド病院、(株)鹿児島銀行
鹿児島日産自動車(株)、(医)三聖会、三洋工機(株)、(株)南日本総合サービス

[illegible]

ポケット時刻表

[illegible]

2006年12月1日

主要団地ポケット時刻表

吉野(無線前)

方面

鹿児島中央駅バスターミナル発



はむっと! ECO通車
つつくっと! ECO通車



鹿児島中央駅
吉野(無線前)まで
吉野(無線前)まで
吉野(無線前)まで
吉野(無線前)まで
吉野(無線前)まで
吉野(無線前)まで

1日5回以上、少くとも毎朝利用できるだけで
1人1日 約1,500円CO2削減になります。

※バスの運行時刻は、変更することがございます。詳しい情報は、各バス会社にお問ください。また、バスは交通事情により遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

[illegible][illegible]

※バスの運行時刻は、変更することがございます。詳しい情報は、各バス会社にお尋ねください。また、バスは交通事情により遅れる場合がありますので、予めご了承ください。

最寄りのバス停の時刻をご記入ください。

行 数 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24	月曜日から金曜日まで
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	

主簿記 - 主簿記 - 税目	
名称 税目 のりば	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	

2 エコ通勤の取組み

このほか

- ① エコ通勤優良企業表彰・認証制度
- ② インセンティブの付与
- ③ まちかど交通案内所の設置

等に取り組んだ結果……

3 エコ通勤の取組成果

① 参加企業・団体数

19年度:43  20年度:104

② 参加者数

19年度:1,067人  20年度:2,681人

③ CO2削減量(参加者一人当たり)

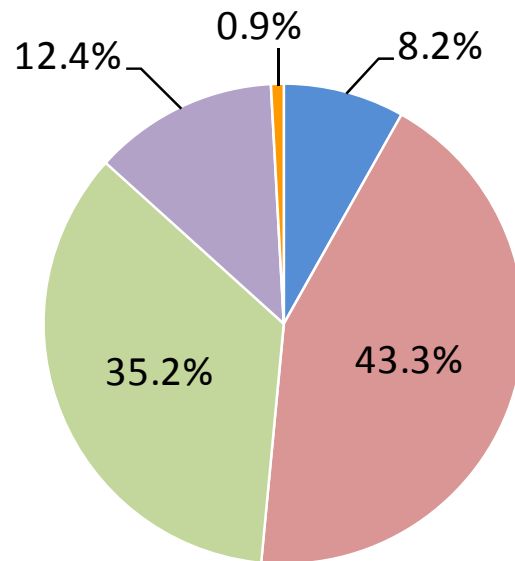
19年度:8%削減  20年度:9%削減

④ 平均取組回数

19年度:1.1回/週  20年度:1.9回/週

4 フォローアップアンケートより

問 社会実験期間以降もエコ通勤を継続しているか。

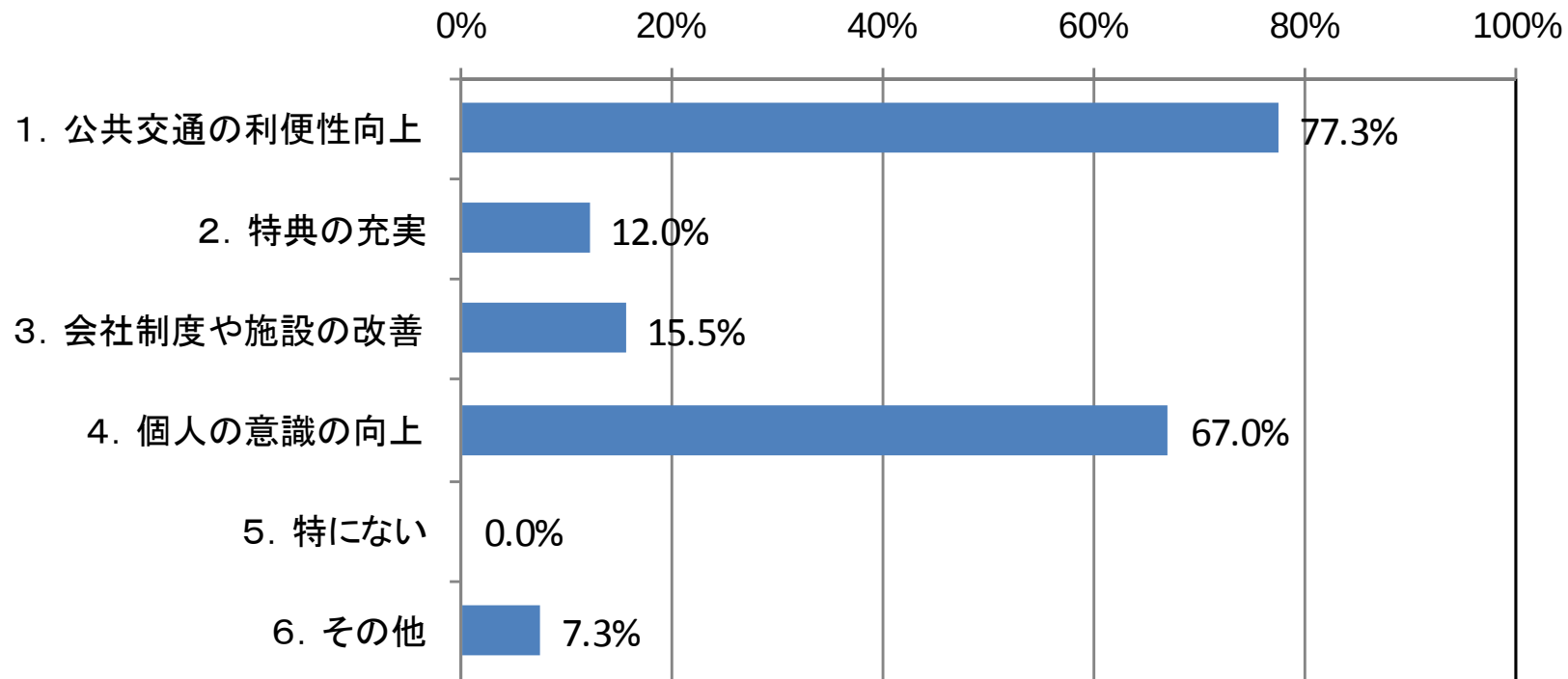


8割以上の人がエコ通勤を継続している。

- 1. 重点取組期間以上の頻度でエコ通勤している
- 2. 重点取組期間と同頻度の頻度でエコ通勤している
- 3. 重点取組期間より低い頻度でエコ通勤している
- 4. エコ通勤していない
- 5. 不明

4 フォローアップアンケートより

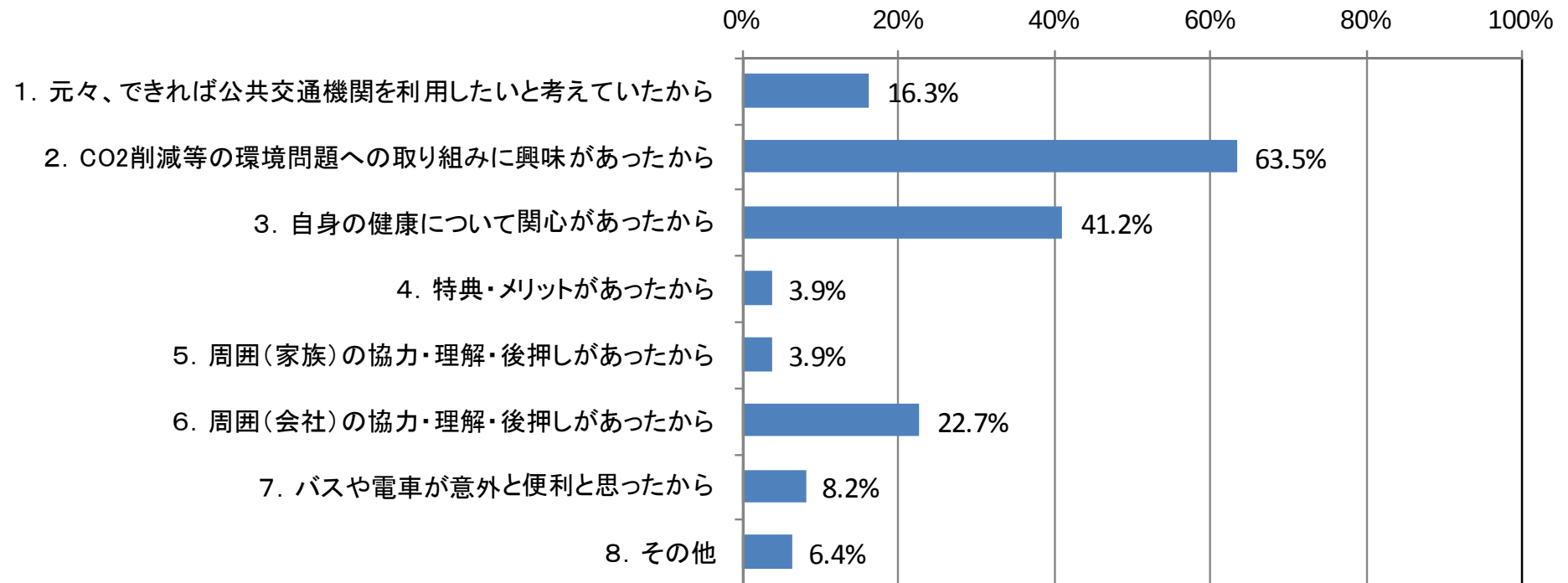
問 よりエコ通勤を行うためには？



利便性の向上と個人の意識向上が不可欠。

4 フォローアップアンケートより

問 今回、エコ通勤に参加した理由は？

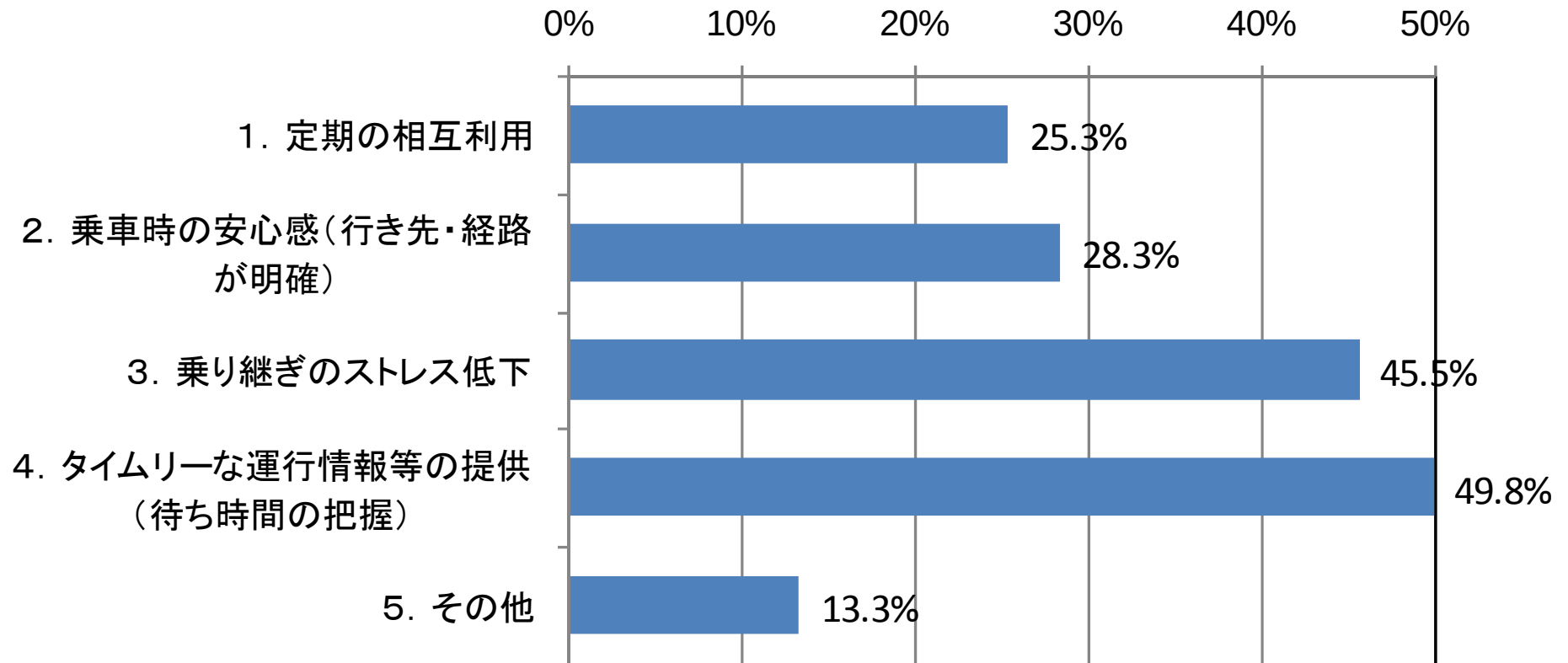


環境問題への意識は高い。

継続的な普及啓発での個人意識の向上を。

4 フォローアップアンケートより

問 利便性の向上に必要なものは？



運行に関する情報(路線・ダイヤ)提供が不可欠。

4 フォローアップアンケートより

「交通ナビかごしま」は、県内の公共交通機関に関するダイヤ、運賃、乗換情報等をインターネットを介してご案内する総合データベースです。



大型表示装置・Kiosk端末

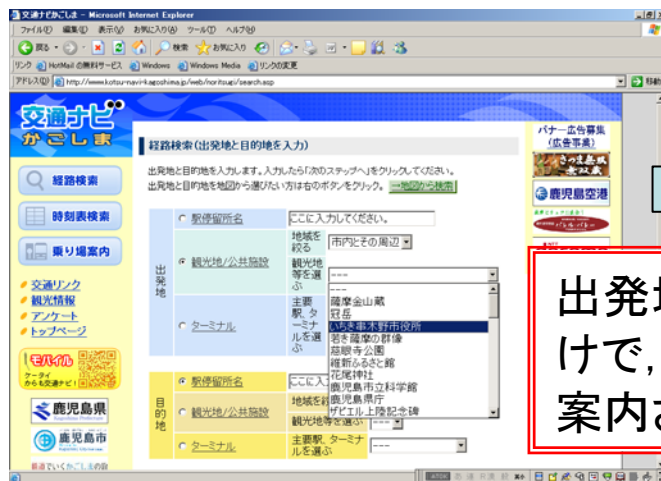
インターネット



携帯電話



パソコン



出発地と目的地を入力・選択するだけで、3パターン程度の移動経路が案内されます。



5 社会実験を踏まえた取りまとめ

社会実験や、その後のアンケートにより得られたデータを元に、今後、更に「エコ通勤」を推進させるための13の施策を検討し、関係機関がそれぞれの役割や、進め方を取りまとめた

「エコ通勤を推進する鹿児島における低炭素地域計画」

を策定しました。

5 社会実験を踏まえた取りまとめ

No.	施策の種類	施策項目	施策名	施策内容・備考
1	公共交通の 利便性向上	バス乗車時の安心 感向上	系統番号の付与	新規・追加路線に対して、利用者が混乱を生じないように系統番号の付与を行う。
2			バスマップの作成	バスマップを継続的に作成する。
3			エコ通勤ガイドの作成	エコ通勤ガイドを継続的に作成する。
4			ポケット時刻表の作成	ポケット時刻表を継続的に作成する。
5		バスの走行性向上	バスの走行性向上	PTPS等の整備によって、バスの走行性を向上させる。
6		バスの乗継利便性 向上	バスの乗継利便性向上	乗継を考慮した運行時刻の設定等によって、バスの乗継利便性を向上させる。
7		軌道系公共交通の 利便性向上	路面電車の走行性向上	比較的走行性が確保され、乗車時の安心感が高い路面電車を利活用する。
8		公共交通の連携	パークアンドライドの推進	郊外部において、パークアンドライドを推進する。
9	公共交通の 利用促進	企業としての参加	「エコ通勤アンケート」実施事業所の公募	平成21年6月21日に創設された、国土交通省、交通エコロジー・モビリティ財団のエコ通勤優良事業所認証制度を活用する。
10			エコ通勤優良事業所認証制度の実施	
11			エコ通勤特別割引制度の実施	自動車通勤者のうち、割引申請を行ってエコ通勤パスの交付を受けた人は、毎週水曜日は公共交通料金が半額になる。
12		イベント的広報の実践	イベントに関する広報の実現	イベント的に実施する内容についての広報を実施する。
13		継続的広報の実践	継続的な広報展開の実現	普及啓発に関する広報を実施する。

6 その他

計画の策定と並行して、利便性向上のための施策として「エコ通勤割引パス」制度を実施しました。

1 内容

毎週水曜日にバス・路面電車運賃を半額に割り引く。

2 パスの交付対象者

現在自動車通勤の方

3 交付数

524人(21年度末)



宮崎県でも今年度から実施されています。